

平成30年度「長久手市役所の仕事」通知表”の作成
 ～長久手市行政評価・外部評価～④（平成30年7月31日）開催概要

開催概要	
会議等の名称	平成30年度行政評価・外部評価④ 「文書の削減計画」【行政課】
開催日時	平成30年7月31日（火） 午前10時50分から午前11時50分まで
開催場所	市役所西庁舎2階 第7・8会議室
出席者氏名 （敬称略）	<外部評価実施者> ・行政改革推進委員 石橋健一、江頭隆行、山口秋男 ・外部評価委員 瀧尾侑里、市岡紗理奈 <担当課> 総務部次長 浦川 正、行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉剛 <事務局> 行政課主任 加藤優作
傍聴者人数	1人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域に出る」という表現がわかりづらい。 ・中期目標、長期目標をみると、目標は達成されており、今後は維持するよう思え、これ以上の改善余地がないように思える。その点で行政評価票は読みづらい。 ・目標は達成しており、ある程度の成果は出ていると思う。 ・印刷については、必要なものとムダなものとの区分けの判断が重要である。 ・この施策の主たる目的が「文書の削減計画」なのか、「職員が外（地域）に出る」なのかがわかりづらい。筋が通ってないように感じる。欲張りすぎているように感じる。 ・文書を減らすことが目的ではなく、決裁行為をどこまで簡素化できるか、それに付随する文書はどう作ればよいかということを考えればよく、決裁文書が「重要」か、「重要ではない」かということではないと思う。そこが腑に落ちないと感じる。ちぐはぐに思う。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・合理化、グリーン化など色々なものが混ざっているように思う。 ・ログデータの名称の整理などを実施しないと根本的なことにならないし、分析もできないと思う。ルールづくりが重要である。 ・ログデータの分析においては、目的により区別し、ルール設計なども踏まえてやるとよい。 ・印刷枚数のワースト10を庁内に公表するよりも、トップ10を庁内に公表した方が意欲の向上につながると思う。 ・数値はパーセントもあるが、実数もある。数字のトリックにならないようにしてほしい。 ・決裁の簡素化については、ルールの精査が重要である。 ・「地域に出る」と「文書の削減」は切り分けた方がよいと思う。「地域に出る」ための取組は他にもあると思う。 ・「地域に出る」ための取組について、横の連携が重要である。本来は、複数の取組とあわせて評価できるとよい。本質的なリンクが必要である。報告文書の削減がメインとも思う。 ・このテーマはある意味で決裁の話ではなく、ツールが重要でコストが伴う話とも言える。 ・議事録のテープおこしについて、アウトソーシングすることも考えること。会議そのものの精査も必要である。 ・印刷枚数の目標値設定について、目標と結果のみだと進捗状況がわかりづらいため、日々の管理状況がわかるようにすることと、ツールを使い分析できるとよい。さらに庁内共有できるとよいと。
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決裁をどうするのかは、別の部門で考える必要がある。 ・報告文書の削減については、引き続き簡素化、効率化に取り組んでほしい。
---------------	---